

# 令和5年度事業報告書

## 1. 事業に関する事項

市民の共有財産である相模湾沿岸の海岸が広く市民に親しまれる憩いの場となるよう積極的に海岸環境の保全等に取り組むと共に漁業生産の場として広く活用されている相模湾沿岸の水産業の振興に寄与するため事業計画に基づき実施した。

各事業の実施状況は次のとおりである。

### (1) 環境保全事業（定款・第4条-第1項-第1号関係）

#### ① 海岸環境美化事業 ～海岸清掃のボランティア活動の推進

ア. 6月11日（日）荒崎海岸クリーンフェスタ2023初夏 <荒天中止>

イ. 8月1日（火）富浦公園前海浜清掃活動

富浦公園前の干潟を守るため、横須賀市と共催で、長井中学校教諭と生徒（72名）も参加して、アオサ清掃とごみ収集を行った。

ウ. 10月8日（日）荒崎海岸クリーンフェスタ2023秋

市内外から約80人の人が参加し、荒崎海岸（なんやの浜）のごみ拾いとカサゴの放流（5,000尾）、マイクロチップによる汚染状況調査を行った。

※ 上記事業に、飲み物、ゴミ袋、軍手、ポケットティッシュなどを提供した。

エ. 西地区町内会・自治会へゴミ袋（45ℓ）等の配布

海岸ごみの70%は陸上のごみが水路や河川を通過して集まることから、街のごみ清掃にも支援することとし、長井及び大楠地区のクリーンよこすか活動にごみ袋（45ℓ）と軍手を配布した。

#### ② 海岸環境保全事業 ～海浜の清掃活動費の援助

「令和5年度水産振興事業助成金」を長井町漁協と横須賀市大楠漁協（現湘南漁協佐島支所）に交付した。

第2回理事会において、横須賀市の相模湾沿岸海域における良好な海岸清掃の保全のため、海岸清掃活動費に対して助成金の交付を決定した。

(履行期間) 令和5年9月1日～令和6年2月28日

(交付金額) 各漁協 600,000円

(業務内容) 海岸の一斉清掃活動を通じて、海洋汚染物等の収集、運搬、処理を行い、快適な海岸環境の保全に努めた。

## (2) 調査研究・保護培養事業 (定款・第4条-第1項-第2号関係)

### ① 水産物の調査研究事業

ア. 「令和5年度小田和湾藻場資料整理業務」をアジア航測(株)と契約した。

(履行期間) 令和6年1月9日～令和6年2月29日

(契約金額) 220,000円

(業務内容) 小田和湾における藻場の現状について、平成29年度と令和3年度に高解像度衛星画像を用いて小田和湾周辺の藻場分布調査を行い、また令和4年度には大楠地区で水中ビデオ撮影を行った。それらの調査結果を集約して、市民や漁業者向けに発行する「西部水産振興だより」の原稿データを作成した。

イ. 「令和5年度水産物の調査・研究事業助成金」を長井町漁協と横須賀市大楠漁協(現湘南漁協佐島支所)に交付した。

第2回理事会において、横須賀市の相模湾沿岸の水産振興及び経営の安定に資するため、水産物の調査・研究を行う者に対して、助成金の交付を決定した。

(履行期間) 令和5年9月1日～令和6年3月25日

(交付金額) 各漁協 250,000円

(履行内容)

- ・長井町漁協は、平成29年度からワカメ養殖を安定的に行うため、アイゴ対策として耐久性のある網を作成し張ることで、成果があり収穫量が増加した。5年度はアイゴトラップの取り付け位置の検討と囲い網との併用で効果を高めるための研究を行った。
- ・横須賀市大楠漁協(現湘南漁協佐島支所)は、アオリイカの産卵床設置による資源の増殖を目的とし、漁業者が間伐材を入手したあと、一定の海域(漁場)を設置し、調査・研究をする。アオリイカに利用価値を探り、資源管理を行いながら、新たな漁業振興につなげていく。

エ. アサリ調査について

令和5年度小田和湾藻場保全調査の中で横須賀市に協力して作業に参加した。長井のアサリ調査作業に計8回参加した。

5/8、6/13、8/29、9/12、10/24、12/19、1/30、3/12

② 水産物の保護培養事業

<放流事業>

No.	実施日	種類	放流数	放流場所	購入先
1	5/16	トラフグ	10,000 尾	小田和湾沖合	県栽培漁業協会 (サザエ) 県水産技術センター
2	6/20	アワビ	1,000 個	長井漁港沖合	
3		トコブシ	5,000 個		
4		サザエ	10,000 個		
5	6/27	ヒラメ	11,000 個	井尻港岸壁及び佐島漁港岸壁	
6	7/18	マダイ	8,000 尾	佐島漁港内	
7	10/2	サザエ	16,000 個	佐島漁港沖合	
8	10/10	カワハギ	8,000 尾	長井新宿漁港岸壁及び佐島漁港岸壁	
9	11/14	アワビ	1,500 個	佐島漁港沖合	

(3) 研修事業 (定款・第4条-第1項-第4号関係)

① 研修会開催事業

当事業団の理事及び評議員他を対象に、海洋調査における近年の画像調査の新技术と今後期待される自律型無人ボート及び水中ロボットによる撮影技術を紹介した。

日時 令和6年3月14日(木)、3月19日(火) 15時~16時

参加者 理事・評議員ほか22人

講師 (株) マリン・ワーク・ジャパン 技術営業室長

#### (4) 広報事業 (定款・第4条-第1項-第5号関係)

##### ① 広報紙作成事業

当事業団の事業活動状況や地域の水産関連等の情報を提供し、水産振興について幅広く市民に理解を深めてもらうため、広報紙「西部水産振興だより」第51号を9月に、第52号を3月に作成し配布した。

- ・発行部数 51号 2,500部、52号 2,500部 (無料配布)
- ・テーマ (1面記事)
  - 51号 再生したアマモ場の維持管理の必要性
  - 52号 小田和湾周辺の藻場の現状と再生
- ・配布先 地元大楠、長井、武山地区の44町内会と自治会、各学校、各自治体、関係団体、他の水産振興事業団ほか

#### (5) 経営安定事業 (定款・第4条-第1項-第3号関係)

##### ① 漁業経営資金等助成事業

「令和5年度経営安定事業に係る漁業経営資金等助成金」を長井町漁協と横須賀市大楠漁協 (現湘南漁協佐島支所) に交付した。

第2回理事会において、横須賀市の相模湾沿岸海域における漁業生産力の向上と水産物の安定供給に寄与するため、漁業協同組合の経営基盤の強化と漁業経営の安定化を図るために融資を受けたものに対して、その返済のために助成金の交付を決定した。

- 長井町漁協 助成額：4,000,000円 (9月1日支出)
- 横須賀市大楠漁協 (現湘南漁協佐島支所)  
助成額：4,000,000円 (9月5日支出)